

大切な命を守るため

災害への備え できていますか？



災害はいつ起きるかわかりません。雨がが増えて水害の危険が高まるこれからの時季に備えて、自分や家族、財産を守るための準備をしっかりとっておきましょう。

地域と自宅の浸水対策

■ 日頃から浸水への備えを

身近な道路側溝の清掃

道路側溝に落ち葉やビニール袋などのごみがたまると、悪臭や害虫発生の原因になったり、雨水の流れが悪くなって道路上に水があふれたりする危険があります。命や財産を守るため、道路側溝が十分に機能するよう、地域全体で協力して定期的に清掃しましょう。



■ 助成制度の活用を

種類	助成額	問い合わせ
雨水浸透ます・貯留タンク設置	浸透ます…1基あたり上限2万円 ▷貯留タンク…上限2万円(設置方法により異なる)	北・東・中央・江南区…東部地域下水道事務所 (☎025-281-9562) 秋葉・南・西・西蒲区…西部地域下水道事務所 (☎025-370-6372)
防水板設置工事	工事費の1/2(上限50万円)	
駐車場かさ上げ工事	工事費の1/2(上限10万円)	
住宅かさ上げ工事	工事費の1/2(上限100万円) 対象 平成10年8月4日以降に床上浸水被害が発生した地域	下水道計画課 (☎025-226-2982)

普段の備えが大事なんだ!



命を守るための情報と準備

図防災課 (☎025-226-1143)

水害の危険性を確認しよう

総合ハザードマップには、洪水や浸水など、災害の種別ごとに想定される浸水深や避難所などの情報が、中学校区単位でまとめられています。

※市ホームページのほか、区役所地域総務課(東・中央・西区は総務課)でも閲覧可

ハザードマップはこちら



ハザードマップを見て、住んでいる地域の災害時のリスクを知り、普段から避難経路などを考えておくと、いざというときに慌てずに行動しやすくなります。

防災士

大森 幸治さん



避難するタイミングを知ろう

新潟市では災害発生時に避難情報などをさまざまな手段で発信しています。

にいがた防災メール



新潟市LINE公式アカウント



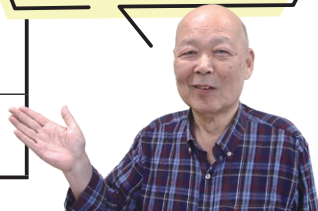
避難所に行くだけじゃない?

自宅での避難も考えよう

「避難」とは「難」を「避」けて命を守ることです。水害時は避難所に向かうことが危険な場合もあります。自宅の2階に避難(垂直避難)するなど、状況に合わせて避難行動を選択しましょう。



避難情報は自分や家族などの命を守るためのサインです。すぐに受け取れるようにテレビやスマートフォンなどを小まめに確認するようにしましょう。



警戒レベル 5 緊急安全確保	命の危険。 直ちに安全確保
～<警戒レベル4までに必ず避難!>～	
警戒レベル 4 避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3 高齢者等避難	危険な場所から 高齢者などは避難
警戒レベル 2 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	ハザードマップなどで 避難行動を確認
警戒レベル 1	最新情報に注意

※地震・津波の場合、警戒レベルは出されません。

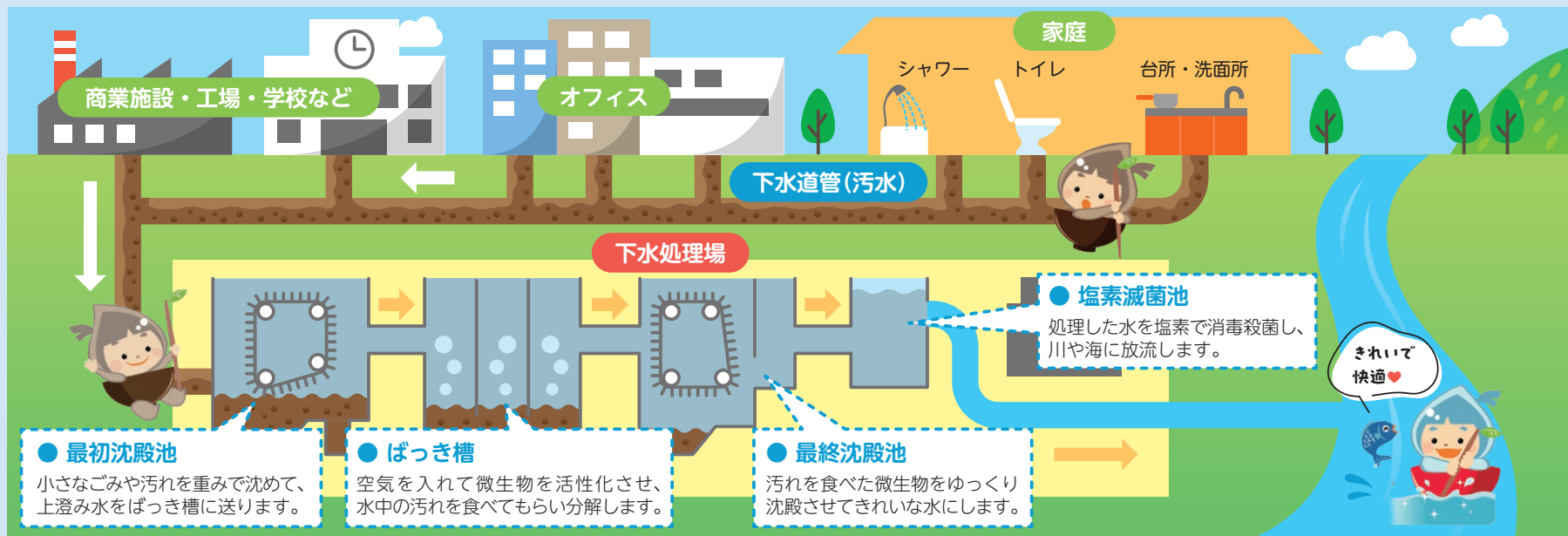
暮らしに欠かせない!!

下水道の仕組みと役割

役割 1

汚水の処理

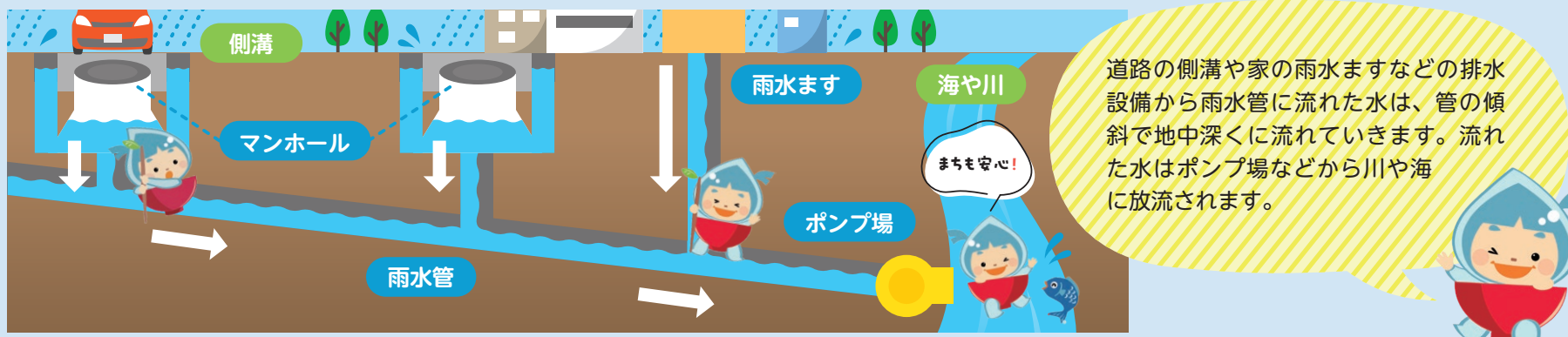
家庭や工場などから出る汚れた水を、下水処理場できれいにしてから川や海に流すことで、まちを清潔に保っています。



役割 2

浸水の防止

雨を雨水管やポンプ場を通じて素速く川や海に流し、まちを浸水から守っています。



下水道を管理している人に
聞きました

下水道管理センター
榎崎

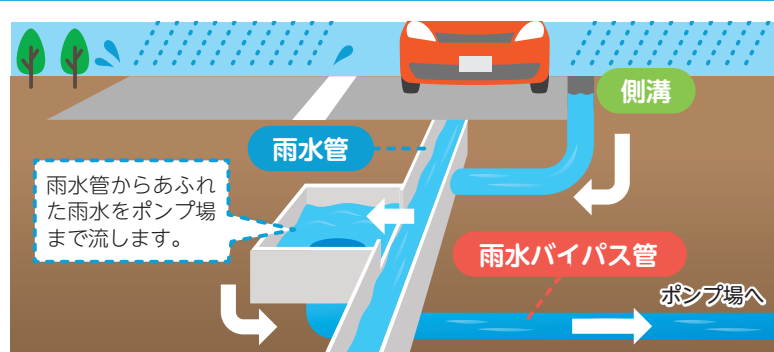


安心を守るために

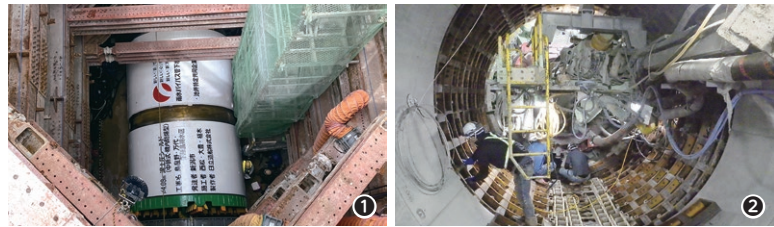
新潟市は約3,900kmの下水道管を管理していて、下水道管や施設を安全に維持するため、日々パトロールしたり点検したりしています。老朽化している施設もある中で、皆さんに安心・安全で持続可能な下水道を提供し続けるため、計画的に修繕や改築も進めています。

災害に強いまちを目指して

通常、雨が降ったときは、雨水管を通して川などに放流しますが、降水量が多いと、下水道管での排水が追いつかなくなることがあります。排水が追いつかず、まちが浸水するのを防ぐため、新潟市では雨水管からあふれた水を貯めておく貯留管や、ポンプ場へ流す雨水バイパス管の整備を進めて、いざというときに備えています。



▲雨水バイパス管のイメージ



▲シールドマシン (①) を使って、雨水バイパス管の工事をする様子 (②)